

1. 気象概況（中野市長丘地区気象ロボット観測データによる）

月間	旬別	上旬		中旬		下旬		月間		特記・コメント
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
10月	平均気温（℃）	15.3	17.2	13.0	13.7	11.2	10.8	13.2	13.9	月間平年比-0.7℃
10月	降水量（mm）	33.0	21.9	9.5	53.2	3.0	43.7	45.5	118.7	月間平年比38%
10月	日照量（h）	35.7	50.0	69.2	46.6	79.5	55.2	184.4	151.8	月間平年比121%

2023 10月気象ポイント

- ◆ 気温：最高気温 27.9℃（10/20） 最低気温 0.8℃（10/22）
- ◆ 降水量（平年比）：上旬 33.0 mm（150.7%）、中旬 9.5 mm（17.9%）、下旬 3.0 mm（7%）
- ◆ 降雨 10 mm以上記録日：11.5 mm（10/9）
- ◆ 日照量：上旬平年比 71%、中旬平年比 149%、下旬平年比 144%
- ◆ 地温 20 cm：下旬日平均 13.9℃（下旬平年 14.0℃）、日最低 12.8℃（10/23） ※ぶどうは地温が 13℃以下になると根の活動停止

2. 生産の経過・病害虫発生状況・今後の対策

【加温ハウス】 : サクランボ 12 棟。初出荷：4/2。ピーク 5/15。最終：6/25。数量（昨対）90%
: ハウスもも 1 棟 初出荷（日川）：4/26 最終：5/22。数量（昨対）95%。
: ぶどう棟数は昨年並み。初出荷は 4 月下旬頃。出荷進度は早める見込み。シャインピーク 8 月初旬頃。

【露地】

① 生育情報

満開：太陽 4/6、白鳳 4/11、佐藤錦 4/14、南水 4/13、ラフランス 4/13、ふじ 4/21 *平年比△10 日程度。

落花：太陽 4/16、白鳳 4/19、佐藤錦 4/24、南水 4/22、ラフランス 4/23、ふじ 4/29 *平年比△7 日程度。

② 生産基盤 2023（推定）

ぶどう 340ha・りんご 144ha・もも 86ha・プラム 35ha・和梨 10ha・桜桃 7ha・柿 6ha・西洋梨 5ha

③ ぶどう 2023

- ◆ 全体：シャイン・ルージュ自然増見込。巨峰・パープル面積減見込。ぶどう全体の生産量は昨対 110%を見込む。
- ◆ 開花：巨峰 6/7 頃、シャイン 6/10 頃 *平年比+1~2 満開：巨峰 6/13 頃、シャイン 6/17 頃 *平年+1~2
- ◆ 5~6 月天候不順や低温等により生育停滞。開花は平年より遅れた。加えて開花のバラツキが過去になく大きかった。
- ◆ ベレーゾン前からの干ばつで巨峰系の肥大停滞あり。シャインも枝管理の遅れなどで肥大不良や肥大のバラツキ見られる。
- ◆ 収穫開始（露地）：パープル 8/27、種なし巨峰 9/3、シャイン 9/13、ルージュ 9/18
- ◆ 高温により成熟は大きく前進。シャインでは 8 月下旬から黄化やシミ等の高温障害が散見された。

④ 立木果樹特記

- ◆ 収穫開始：ムーンルージュ（赤果肉りんご）10/27~、ぐんま名月 10/30~、サンふじ 11/5~
- ◆ りんご：肥大平年比 95~100%（10/15）。サンふじ：気温低下、着色前進。ミツ入り昨年より良好。糖度高い傾向。
- ◆ もも：ゴールデンピーチ平均糖度 14%（陽だまり率 30%）。核割れ、せん孔病散見。
- ◆ ナシ：南水平均糖度 14.4%（陽だまり率 60%）。
- ◆ プラム：秋姫、成熟遅延。高温障害発生。（部分的な果肉の軟化） シナノパール糖度 18%以上。

⑤ 病害虫 2023 重点対策

- ◆ べと病・黒とう病：6 月下旬感染あり（副梢葉等）。粒感染が確認されたが実害は少。盛夏期の拡大なし。
- ◆ 晩腐病：梅雨後半に感染→成熟期の 8 月下旬から発病確認。収穫遅れ（酸味低下）になった房への発生あり。実害は少。
- ◆ ぶどうスカシバ：6 月から巨峰系のみならずシャインにも被害散見。大被害となっていないが、山間部での発生日立った。
- ◆ りんごハダニ類：8 月中旬以降、一部園地でナミハダニの密度上昇。
- ◆ りんご黒星病：5 月末頃から葉病斑、果実病斑を確認。6 月中旬から、新梢先端~3 枚目の葉に病斑散見。治療痕もあり。
- ◆ りんご褐斑病：8 月以降、一部園地にて葉病斑が散見される。
- ◆ ももせん孔細菌病：開花期~春型枝病斑、5 月中旬~葉病斑、5 月下旬~果実病斑を確認。昨年よりも発生密度が高い
- ◆ スモモヒメシクイ：8/上旬~第二世代発生増加。一部、果実被害散見。